

学校名 市立

（小・中）学校

No.

児童生徒名	F (男・女)	記入月日	年 月 日
記入者(役割)		生年月日	年 月 日 学年 6学年
○主に課題となっている点（本人が困難に感じていること、担任が困難に感じていること）			
担任) 教室に入れない。以前は攻撃的な行動が多かった。 本人) 学習したいけど、わからない。 悪口を言う人がいる。 人とコミュニケーションをとることが苦手である。言葉通りに受け取ることがあるため、状況を整理して伝える必要がある。			
○興味・関心、得意なこと、進んで取り組むこと、その子のよいところ			
・本を読むことが好き（特に歴史、社会） ・パソコン			
学 校 で の 人 間 関 係 の 様 子	1 基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶等はよくできる。 ・いつも上履きのかかとを踏んで歩いている。 ・整理整頓が苦手である。 	
	2 学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読みは学年相当のものがほぼ可能である。 ・漢字を書くことには苦手意識が強い。（細かい誤りも多い） ・計算は繰り上がり、繰り下がり等で間違えることがある。 かけ算九九を確実に覚えていない。 ・社会科が好きである。 	
	3 大人との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に相手をしてくれる大人とは良好な関係を築けるが、追い込むような対応をすると攻撃的な行動に出ることがあった。（現在はなくなった） 	
	4 友達との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的穏やかな友だちを好む。 	
	5 集団行動	<ul style="list-style-type: none"> ・興味や関心のあること、苦手ではないことについては、一緒にできる。（できた） ・苦手意識の強いことに対しては、抵抗感が強い。 	
	6 その他 学級の様子等	<ul style="list-style-type: none"> ・教室外で同級生と少人数の活動は可能である。 	
地 域 で の 様 子	1 家族構成・家庭環境 特記事項なし	2 生育歴・教育歴 幼児期にまぶしがるようなことがあった	
		3 家庭や地域での様子	
○他機関（教育センター、医療機関、児童相談所、放課後ルーム、民間教育機関）利用状況 学校での学習等支援・・・職員によるチーム支援及び特別支援教育支援員による対応 H17・・・A病院 H18・・・Bクリニック（検査・診断） 中学校進学や進学以降のフォローについて要相談（特別支援学校や中核地域生活支援センターと連携していきたい）			
○保護者の意見 学校でできることを少しずつ増やして、教室に入れるようになってほしい。 中学校進学については、いろいろな面で配慮してほしい。			

長期目標：自分のできる学習や活動を、時間割やスケジュールにそって取り組むことができる。	
短期目標 (9月)：示された時間割やスケジュールにそって行動し、その時間内の課題に教師と取り組める。 評価：課題が実態に合っていれば、きちんと取り組もうとするようになった。 (10月)：示された時間割やスケジュールにそって行動し、課題に一人で取り組むことができる。	
国語 (○教諭) 少人数 担当	書字：3学年の漢字を書くことができる。 読字：6学年の漢字を読むことができる。
算数 (○教諭) 理科専 科	繰り上がりのある足し算、繰り下がりのある引き算の計算に取り組むことができる。 ※ゲーム的な要素を採り入れた学習を中心に進める。
図工 (○教諭)	展覧会の絵を仕上げることができる。
家庭 (教頭)	安全に気をつけて裁縫や調理の学習に取り組み、縫い物の技術を高めたり作れる料理の種類を増やしたりすることができる。
体育 (校長)	陸上：グラウンドや体育館（雨天時等）で、決められた周回数を時間内に走ることができる。 ※成果をグラフ化するなど視覚的に実感できるようにする。
他 (担任) (学生ボ ランティ ア)	(小集団による活動) ゲームを通して、ルールを守ったり相手に合わせて行動をコントロールしたりすることができる。 (個別) 自分のことや周囲のこと、今後のことなどを担任等と話し合うことができる。

※朝一番に、その日のスケジュールを自分で記入する時間を必ず設ける。

※会話だけではなく、文字にして伝える工夫をしてみる。

※担当者間で申し送りが確実にできるようにする。

※全体を通して、細かな変容を保護者に伝えられるようにする。

